光風台小学校だより

平成 28 年(2016 年) 1 学期末号

夏休み

子どもたちにとっては、待ちに待った楽しみな夏休み。「休」は、「人」は「木」のそばで休む。普段なかなか自然と触れ合うことが少なくなっている私たちですが、木のある自然の中で休めるような時間がとれるといいなと思います。子どもたちがたっぷり遊べること、豊かな家族との時間を過ごせることは、子ども時代の夏休みしかできないことです。皆様にとって楽しい夏休みであることを願うと共に、体調には十分ご留意され、２学期始業式に、お子様が元気な笑顔を見せてくれることを願っております。保護者・地域の皆様のご協力ご支援により、無事に１学期を終えることができました。本当にありがとうございました。

光小トピックス

文科省研究指定発表大会・土曜学校公開の変更のお知らせ

年度当初の予定では、10 月 29 日(土)に土曜人権参観と研究発表大会を合わせて行う予定にしていましたが、本大会が文部科学省研究指定のため教育関係者参加が想定を超える予想となってきまた。そこで、研究発表大会と土曜学校公開を別日開催に変更させていただきます。

11 月 1 日(火)研究発表大会、11 月 5 日(土)土曜学校公開

11 月 1 日(火)研究発表大会	11 月 5 日(土)学校公開
13:10　受付 給食・昼休み・掃除(2.4.6 年)　1.3.5 年は給食後下校 13:50～14:35　5 時間目　授業公開(2.4.6 年) 2.4.6 年生下校 14:55～15:00　全体会・本校の研究報告・講演会 「人権感覚を豊かにはぐくむ教育の実践」 ～キーワードは「自尊感情」～ 大阪成蹊大学　教育学部教授　園田雅春先生	午前中　学校公開(2.3 時間目) 教科・人権等の授業 弁当・昼休み・掃除 5 時間目　普通授業 6 時間目　終わりの会　下校 ＊本年度は、午前(2・3 限)土曜学校公開(教科・人権などの授業)とさせていただきます。

＊11 月 1 日の研究発表大会は、教育関係者向けの授業公開・講演会として開催いたします。

学校等支援員配置

豊能町学校等支援員として、平野卓爾元本校教諭と松尾千佳子元本校教諭が、7 月 4 日より勤務しています。平野教諭は月・火・木曜日(各 3 時間)に主に 6 年 1 組、松尾教諭は水・金曜日(各 3 時間)に主に 1 年 1 組の学習サポート等をします。よろしくお願いします。

授業アンケート

先日、授業アンケートにご協力くださりありがとうございました。いただいたアンケートを元に、教職員の資質向上や学校教育活動の参考にさせていただきます。なお本アンケートは、結果の公開は致しません。ただ個別に記述された方で、必要に応じては校長が直接お話をお聞きする機会をもたせていただく場合があります。その場合は、直接連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

登校班一斉下校見守りありがとうございました

先日の緊急時を想定した登校班一斉下校に、地域見守りボランティアの方や PTA 校外委員の方が登校班下校に一緒について見守ってくださいました。その時の様子などについて、貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見は抜粋して、紹介させていただきます。

良い面もご指摘の点も真摯に受け止め、今後の登校班活動の取組みにいかしていきたいと思います。

良かった面

・きちんとまとまって帰っていて良かったです。
・子どもたちは仲良く下校していました。朝の登校時に比べ、随分元気であったように思われます。子どもたちの元気な様子を見られるのはうれしいです。
・登校班のリーダーが、グループを掌握して、最後(朝の集合場所)まで、リードしていました。
・6 年生の男の子が一緒に歩きながらいろいろ話してくれました。

感想

・子どもの人数も随分少なくなりましたが、下校時にほとんど近所の子がいなかったのが印象的でした。
・地域の子どもたちの少ないことを改めて感じました。

考え直したいこと

・下校はじめに、各班のプラカードを責任者が持っているだけで、上又は前に掲げていない人が多く、どこの班が下校を始めたのかわかりにくかった。
・光風台で、信号機のない所で渡るため危険である」と注意を促したが、先生からも「信号のない所を渡らないように」注意してください。
・他の班の子と合流すると、誰がどこの班の子かわからず困りました。
・皆が早足になると低学年の子は走ることになる。もう少し、高学年の児童が、低学年の児童を見守ってほしい。
・先生のいた最初の信号まではおとなしかったですが、その後、子どもたちは走り続け、追いつくのが大変でした。注意の声も届かず、集合場所に着いた時は子どもたちの姿もなく淋しかったです。

避難所備蓄庫設置

本校体育館が、豊能町の指定避難所となり、大災害に備え、豊能町は避難所備蓄倉庫を、PTA 室(体育館)横に設置されました。

設置されて、これから避難者用の毛布・水・カンパンなどを備蓄する予定だそうです。

学校協議会

学校協議会では、学校運営に関する課題について、学期1回・年3回、協議をお願いしています。今年度の委員の方は、地域代表として廣瀬 一さん（元自治会長）・塚原保子さん（元青育協副会長）・中村聡子さん（学校支援コーディネーター）、学識経験者として坂本有甫先生（前学校医）、保護者代表として小石奈緒美さん（PTA 副会長）と、学校から教務主任・首席教諭・教頭・校長で構成しています。

第1回目は、本年度の教育目標・年間行事、文部科学省研究指定「人権教育（集団づくり）」、学力向上・授業研究、学校の安全などについて協議いただきました。学校協議会で提言されたご意見を、学校運営にいかして教育活動を進めていきたいと思います。以下は、今回いただいた主なご意見です。

- 学校教育目標の重点目標や研究目標は具体的でわかりやすい。先ずは「学校が楽しい」が大切。
- 「学校へ行きたくない」と訴える児童はいるのか。その子は「何に困っているのか」。
  こういう否定的な問いを大切にすべきだと思う。ここにこそ「人とつながり、人の気持ちがわかる」ということではないのか。
- 子どもが多様化する中、担任は一人で授業をしているのか。副担任とか複数で観て、脇や後ろからみている人が必要ではないか。
- 集団づくりについて、子どもたち自身が自主的・自立的にやっているのか。
- 人権教育研究に、本年度、新たにはとりくみ始めたことは何？
- 先生がお互いの授業を見合う機会を増やし、そういう機会を積極的につくることが大切ではないか。
- 子どもの遊ぶ時間の保障、ぼーっとする時間が必要では。
- 子どもは先生に話を聞いてもらいたいと思っている。「先生が話を聞いてくれない」と言う。先生はあまりに忙しいのではないか。
- 余裕のある時間を、先生方につくってあげてほしい。
- 先生自身にゆとりがあるような学校運営の見直しが必要では。
- 先生だけでなく、家庭でも、子どもの話をじっくり聞いているのだろうか。
- 今の子どもに一番欠けているものは何か。「読むこと、聞くこと、話すこと、しんどいことをしないこと、指示されることを嫌がること等々・・」子どもが嫌がっていることの中に、ヒントがあるのではないか。
- 教育委員会と学校協議会が定期的に話し合いをもつ必要がある。また他の学校協議会の方とも情報を交流してみたい。

学校の様子

その①　保幼小交流会（6 月 21 日）

ひかり幼稚園・吉川保育所の年長クラス（来年度の1年生）の子どもたちと、本校1年生の子どもたちの交流会でした。この日は、体育館でじゃんけん列車等のゲームでお互いが慣れた後、1年生教室を見学しました。このとりくみは、毎学期１回行います。3学期は、入学に向けて体験授業なども予定しています。このとりくみを通して、子どもたち同士の交流が広がり、小学校への入学を楽しみに感じてもらえたらと思います。

その②　５年生着衣水泳（7 月 15 日）

着衣のまま水の中に入ると、「服が重い」「まとわりつく」「うまく泳げない」等と子どもたちが叫んでいました。水を含むと着衣は肌にまとわりつき、水を吸って重く、思うように身動きがとれなくなります。万が一、着衣のまま溺れることになったら、着衣水泳の体験があるかないかでは大きな差となります。5 年生は、力を抜いて、息が吸えるように浮いて命を長らえることを身につける着衣水泳の授業を、毎年、水泳学習の最終日に受けています。

その③　青育協主催「ミニコンサート」（7 月 16 日）

イタリア語で「お調子者たち」という意味の「ベルゴロウィンドアンサンブル」吹奏楽バンドによるミニコンサートを催してくださいました。「夏らしい曲で、聞いていて涼しい気持ちになった」とか「指揮者体験をさせてもらい、とてもよかった」などの感想を聞きました。天気にも恵まれ、初夏にしては過ごしやすい気温と爽やかな風も幸いして、心地よく気持ちのよい調べを聴くことができました。青育協の皆様には、子どもたちに楽しい企画を提供してくださり、当日は準備から片付けまで、大変お世話になりました。

光小サポーターの皆様のご支援に厚く御礼申し上げます

保護者サポーターの方による水泳の陸上監視、PTA ベルマーク収集作業、低学年学級の親子親睦会、6 年竹水鉄砲づくりの学級イベント時に手伝いで駆けつけてくださる保護者の方など、保護者の方がサポートしてくださいました。3・5 年生の歯科衛生士の方による「ブラッシング指導」、4 年生の 1276 座の方による命の学習など、外部講師の方が授業サポートしてくださいました。6 年生の家庭科被服実習でのミシンや縫い針サポート、低学年への絵本の読み聞かせサポート、5 年生田んぼサポーター、全学年の畑支援、毎日の登下校の安全見守り、わくわく放課教室・わくわくイベントなど、光小サポーターの方が活動サポートしてくだいました。PTA の役員・各委員の方の日々の活動、青育協・地教協のなど地域の皆様の一年を通して活動してくださっています。

たくさんの地域や保護者の皆様のご支援により、学習活動に幅と余裕と安全が保障されてきました。このような様々な体験や活動の授業を展開することができるのには、保護者・サポーターの皆様の支援があってこそのことです。地域・保護者の皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。加えて、夏休み・来学期もよろしくお願いいたします。